



平成29年春季火災防ぎょ訓練の実施について

1. 概要・目的など

空気が乾燥し火災が発生しやすい季節において、安全・迅速・的確に消防活動を実施するため、ブラインド型訓練により警防技術の向上を図るとともに関係機関の初期消火体制の確立、消防機関との連携を重点に訓練を実施し、住民の期待に応える消防体制の強化を図ることを目的とする。

2. 開催日時・日程

平成29年3月20日（月） 8時00分～8時30分

3. 場所

津幡町字竹橋ク128 倶利伽羅不動寺鳳凰殿及びその周辺

4. 訓練出場隊

消防団 5分団 津幡分団 倉見分団 笠谷分団 倶利伽羅分団 萩坂分団
消防署 1隊 署1号車

5. その他（注意事項など）

平成29年春季火災予防運動 火災防ぎょ訓練実施要領

1. 実施日時 平成29年3月20日（月） 8時00分～8時30分
2. 実施場所 津幡町字竹橋ク128 俱利伽羅不動寺鳳凰殿及びその周辺
3. 訓練目的 空気が乾燥し火災が発生しやすい季節において、安全・迅速・的確に消防活動を実施するため、ブラインド型訓練により警防技術の向上を図るとともに関係機関の初期消火体制の確立、消防機関との連携を重点に訓練を実施し、住民の期待に応える消防体制の強化を図ることを目的とする。
4. 訓練種目 ①通報訓練 ②初期消火訓練
③避難誘導訓練 ④指揮命令伝達訓練
⑤遠距離中継訓練 ⑥ジェットシューター取扱訓練
(①～③は鳳凰殿職員にて実施、④～⑤は消防団・本部にて実施)
5. 訓練想定 当日付与
6. 出動隊 消防団 5分団 俱利伽羅分団 津幡分団 倉見分団 笠谷分団
萩坂分団
消防署 1隊 署1号車
7. 出動指令 8時00分、「津幡指揮102」から無線（町波2）にて出動指令を送信する。
活動内容は署長・団長より無線（町波2）にて行う。各隊は自隊の活動内容を確認後、待機場所より出動する。
8. 活動要領 ブラインド型訓練のため当日付与
9. 留意事項 ①各分団長は団長からの活動内容を確認後「了解」を送信し、待機場所担当職員の指示にて出動すること。

- ②出場途上は緊急走行（赤色灯点灯・サイレン吹鳴）する。運転には十分注意し訓練現場へ到着したならばサイレンを速やかに停止すること。
- ③中継活動時等、分団長は拡声器、トランシーバーを効率よく使用し分団員に活動指示をすること。輻輳した場合には必ず伝令を立てる等の考慮をすること。
- ④各分団長は現場到着の報告を現場本部に無線（津幡指揮102）または口頭にて行うこと。（〇〇分団1から津幡指揮102、現場到着）
- ⑤訓練終了合図は現場本部から無線にて合図する。（分団長は携帯無線機を必ず携帯すること。）
- ⑥待機場所には、7時45分までに集合のこと。
- ⑦訓練終了後、鳳凰殿防火水槽に水補給をするため分団車は指示があるまで中継体制のまま待機のこと。（訓練終了後から補給完了まで30分程度）
- ⑧各分団はホース10本、ジェットシューター（水入り）、ホースブリッジを積載のこと。

10. 現場本部 鳳凰殿 駐車場（事前に設置する。）

11. 閉会式 場 所 鳳凰殿駐車場
挨 拶 鳳凰殿住職
訓 示 田中団長
* 各隊ポンプ車に1名待機させ、集合する。